

研究テーマ・サブテーマ

研究テーマ 「子どもたちの確かな学びを支援する学校事務」
サブテーマ ～共に教育を創造し、実践する学校事務～

平成29年の学校教育法の一部改正を受け、学校のマネジメント力強化のための戦力として学校事務職員の働きに期待が寄せられています。また、「学校における働き方改革」の緊急対策では業務の役割分担や適正化、学校の組織運営の見直しなどが挙げられ、学校全体の業務改善やリソースマネジメントなど、学校力を高めるために事務職員が主体となって働きかけを行っていくことも重要になってきています。そのような周囲からの要請や期待に応え、信頼される学校運営スタッフの一員として「事務をつかさどる」ためには、事務職員自身のさらなる意識改革・行動改革が不可欠です。主体的な行動実践や、周囲へのさらなるアプローチを通し、我々自身だけでなく周囲の意識をも新たなステージへと進めていくために、これまで取り組んできた「他職と協働」し「実践する」ことを継続して行い、成果を形にすることで事務職員の有効性を「見える化」していくことが重要であると考えます。学校内で、また地域の学校において、学校全体の業務改善への実践や事務職員の立場でのカリキュラムマネジメントを行うことを通して、子どもたちの笑顔につながるよりよい方策を提案していける学校事務職員を目指します。

研究の柱

- 1 「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、チーム学校の一員として何ができるかを追究し、教育行政の専門職としての視点を生かした主体的な行動実践につなげる
- 2 学校の今日的課題や自校および地域の学校課題解決にリーダーシップをもって主体的に取り組める職員へキャリアアップを目指す

活動内容・活動概要

- 1 新学習指導要領改訂や社会に開かれた教育課程の推進等の教育情勢の変化に対応し、よりよい教育を実現するために、子どもたちの学習環境の整備等を通して教育支援につながる実践を推進していきます。
- 2 学校事務グランドデザイン「つぐみ」を指針とし、学校における今日的課題を解決するための学校事務の可能性について研究を進めます。そして「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、他職や地域、関係機関等との関わりの中で学校事務職員が果たすべき役割を追究していきます。また、すべてのキャリアステージにおいて、事務職員が力量を備え、カリキュラムマネジメントや業務改善などの分野で主体的・積極的に学校経営に参画できるように、情報発信や支援を行います。

今年度の主な研究活動

- 1 学校事務グランドデザイン「つぐみ」を指針とした実践の推進
 - ・教育活動支援への取組の推進（教育課程や自校の教育活動を理解しよう）
 - ・専門性を活かした取組の推進（学校財務の分野から業務改善へつなげよう）
 - ・キャリアに応じた実践の推進（実行策シートでキャリアアップを目指そう）
 - ・初任者に向けてのグランドデザインの紹介
- 2 グランドデザイン「つぐみ」の小改訂に向けての検討
- 3 研究部通信「Next Step」の発行
 - ・会員や他職・関係機関等に向け研究推進に関する情報発信を実施